

創成の創成による創成のためのマガジン。

MAST

Media Arts, Science and Technology

創刊号
Vol.1

NEWS&Headlines

ここ3ヶ月のIT関連のニュースをピックアップ

特別インタビュー

**講談社 広報室部長
鈴木宣幸氏**

キャンパスを覗く

特集「活用しよう大学施設 in 春日」

授業を覗く

2学期オススメ授業紹介

技術紹介

第1回「大学の計算機を学外から利用しよう！」

新型インフルエンザ情報は大学ウェブから
http://www.tsukuba.ac.jp/

カーシェア・つくば ウェブページアドレス
http://www.tsukuba.ac.jp/carshare/

TOPIC

まだ気を抜いては危険
新型インフルエンザ
ニュースにならないから
と予防を怠ってはダメ!!

新型インフルエンザが勢いを増して猛威を奮っている。八月五日には本学学生が一名感染しており、その前の大学説明会では参加者五名が感染していた。集団感染に広がる傾向が強い為、外に出る際は必ずマスク、帰宅したらうがいと手洗いを忘れずに行うことが重要だ。

TSUKUBA

筑波大学の社会実験
カーシェアリングを導入
車が無いと不便な街だからこそ、便利に使おう

筑波大学は七月二十三日から脱車社会に向けた社会実験として、教員と学生が同じ車を共有しあう「カーシェア・つくば」を始めた。これは事前に携帯電話などから予約し、学内の第一体育館前及び平砂ステーションから一定時間の中で車を借りられるというもの。詳しくはページ上部のアドレスを参照してほしい。

COMPUTER

ずさんな運営体制が問題?
CentOS管理者失踪
一時CentOSが無くなる
のではと噂され騒然と...

去る、七月三十日、創成学類の計算機システムでも採用されている有名なLinuxディストリビューションである「CentOS」の開発者は、連名で簡易書簡をウェブページ<http://www.centos.org/>で公開した。

その内容は、プロジェクト管理者であるLance Davis氏が2週間音信不通となる事態となり、ドメイン名の管理や会議用チャットルームの管理、また財務管理について、ほかの開発者が管理出来ない為、この状態が続けば開発に支障を来してしまう、というものだった。その後、八月一日にはDavis氏と連絡が付き、その後のミーティングの結果、多くの問題は解決したとのこと。ドメイン名などの管理や、商標についてもプロジェクト配下へ移管し、それ以外の未解決な問題に関しても、期限を設け解決に当たる事で合意したようだ。しかし、

INTERNET

インターネットブラウザ
Firefox 3.5公開
より早くより安全になり
Webの可能性を高める

今後、この事件が開発に支障を与える恐れは無いとしているが、世界的にも有名なプロジェクトが今までたった一人の手によって管理されていたというのは、少々ずさんだったのでは、無いだろうか。噂では財務内容についてもDavis氏は開発者たちが請求しても、中々公開しなかったとされているが、真相のほどは定かではない。
(記事・酒井)

創成学類の学生には、Linux環境でお世話になっていると思うのが、インターネットブラウザのFirefoxだ。六月三十日にバージョン3.5へアップグレードされたのはご存じだろうか。(現在の最新バージョンは八月九日現在で3.5.2が公開されている)
このアップグレードでは、GMailなど多くで使用されているJavaScriptと呼ばれるスクリプト言語などのWebアプリケーションの実行速度が大幅に高速化されており、旧バージョンの



今回のバージョンアップに併せて、アイコンも若干やな

3.0と比べて約2倍以上高速化された。プライベートブラウジングモードという機能も強化されており、簡単な設定で閲覧履歴を残さないように出来、特定のサイトに関する全ての履歴を削除することも出来るなど、安全面での性能や機能も強化された。
おもしろい機能では、位置情報通知機能を利用して自分が今居る場所に対応するWebサービスへ通知することで、地域検索などにかかる時間を節約できる機能も搭載された。
また、まだ策定段階のHTML最新バージョンであるHTML5のサポートもされた。次世代のマークアップによる表現が可能になっている。
非常に強力なブラウザとなっているので、ぜひ試してみしてほしい。(記事・酒井)

出典・参考リンク

- Mozilla Firefox 公式サイト
[http://mozilla.jp/firefox/]
- Firefox サポートサイト
[http://mozilla.jp/support/firefox/]

Firefox は標準でも十分強力だが、「アドオン」と呼ばれる機能拡張を Firefox ヘインストールすることで、自分専用のブラウザへと強化することが出来る。是非、自分の望む機能のアドオンを探して、色々と試してみしてほしい。



用語の解説：SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）とは？
社会的な繋がりやコミュニケーションをインターネットでも楽しめるサービスの事。mixi などが有名。

COLUMN

新聞×SNS

朝日新聞がソーシャルネットワーキングサービス「参考ピープル」を開始

朝日新聞社が「参考ピープル」という携帯向けのSNSサイトを立ち上げたのをご存知だろうか。

現在は一千名限定のβ版として運営され、九月一日（折しもこの創成学類誌が創刊される日）に、正式な運用を開始する予定だ。

主なサービス内容はミニブログとソーシャルブックマークの2種類。

人工知能を持った（俗に人工無能と呼ばれている）プログラムを用いた、イメーჯキャラクターを採用、最新のニュースを喋らすなど、お堅い新聞社のイメージとは少し異なった毛色のサービスだ。

この様なサービスに朝日新聞社が乗り出したのには、大きな理由がある。近年、世間では「新聞離れ」という言葉が取り上げられるようになってきている。

新聞を読まなくなる人が増え、新聞の部数は年々落ち込み続けているのだ。新聞離れをしている層を呼び戻そうと、各新聞会社は日夜知恵を絞っている。

今回の朝日新聞社が立ち上げるSNS

サービスもその取り組みの一つだ。

ちなみに、このサイトは「電脳フィギュアARis」で知られる芸者東京エンターテインメント社の協力で作られている。

電脳フィギュアARisは、ARを用いて仮想的にフィギュアを画面の中に取り出すというコンテンツで、ARのエンターテインメントへの利用という点では、かなり注目すべきコンテンツである。

このような企業と協力するあたり、朝日新聞社の新聞離れ対策打開への、力の入れようと、将来への危機感が垣間見えるのではないだろうか。

インターネットという新しいメディアに押され、転換を余儀なくされる新聞業界。その挑戦がどのような未来へ向かうのか、気になるところである。

（記事・高井）

出典・参考リンク

■ 朝日新聞、新聞レス世代に向けたケータイ用 SNS を開始（アスキーデジタル）

【<http://ascii.jp/elem/000/000/444/444166/>】

■ 電脳フィギュア ARis

【<http://www.geishatokyo.com/jp/ar-figure/>】

■ 参考ピープル（携帯向け）

【<http://35people.info/>】

■ 朝日新聞

【<http://www.asahi.com/>】

TOPIC

産経新聞に新しい一面 WEB面を新設 インターネットでの情報を新聞でも幅広く取扱う

産経新聞社は、七月三十日付けの産経新聞紙面より、一ページ全部を使用した新しい紙面『WEB面』を新設した。

この新紙面は毎週木曜日の朝刊にインターネット上で話題となっている出来事を幅広く取り扱うようだ。

近年、新聞離れが加速しつつあり各新聞会社は生き残りの道を模索している段階だが、産経新聞はこのWEB面を既存の読者には新しい世界・価値観の提供、これからの読者にはキラークンテンツとして成長させて行く模様だ。

既存の読者には団塊世代以降が多く、ネット上の話題にはどうしても認識が甘い部分がある。しかし、現代社会はネットとは切っても切れない世の中となっている。このような世代には、分かりやすくかみ砕いて解説し、若い世代のネットヘビューザーにも満足してもらえるような記事を心がけているようだ。

この新紙面も時代の自然な流れで新設が企画されたらしいが、果たして挑戦は結果に結びつくだろうか。（記事・酒井）

INTERNET

ハリウッド女優 エマワトソン事故死!? : ウイルスをばらまくための真つ赤な嘘だった

映画「ハリポッター」シリーズでハーマイオニーを演じるエマワトソンが事故死した、というニュースが7月中旬頃インターネット界隈に駆けめぐった。

主にTwitter上で話題となり、その情報源となったニュースサイトがほとんど紹介され広まった。

：そのウェブページはウイルスが仕込まれているとも知らずに：

その後、そのページは偽りのニュースであり、ウイルス検知ソフトによつてそのページが危険で有ることが徐々に伝わり、沈静化した。しかし、先のマイケルジャクソンが死亡した際にもTwitter上で速報が流れた事もあり、インターネットの即時性と危険性がかいま見えた事件であった。（記事・酒井）

Twitter とは？（ついったー）

いま話題のTwitter。知らない人も多いと思うが、簡単に言えば世界中の独り言（つぶやき）が渦巻く世界だと思ってほしい。

つぶやきを通じた緩いコミュニケーションを楽しむというのが、この世界だ。

自分のつぶやきに誰かが興味を示してくれる、そこからちょっとした会話が生まれる、そんな場所だ。

■ Twitter

【<http://twitter.com/>】



産経新聞のWEB面は、紙面という制限がある為、情報量としてはMSN産経ウェブページの方が多い。この点については“紙の良さに改めて知ってもらえきっかけにしてほしい”とのこと。

株式会社 講談社

鈴木 宣幸氏

筑波大学、情報メディア創成学類は今

までの大学にはなかった分野を研究する学部だ。しかし情報メディア創成学類は発足してから三年目、進路や将来進む道などは自分たちで切り開いていかなくてはならない。

そこで MAST 編集部は将来のことを考える材料に少しでもなればと、情報メディア特別インタビューと題し、実際に社会で働く人たちにインタビューを試みることにした。

実際に働く人たちはどのように考えているのか。何を見ているのか。今企業ではどのような人材が求められているのか。業界の生の声が学類生の役に立つてもらえれば幸いである。

今回インタビューの申し出を受けてくれたのは、株式会社講談社、広報室部長の鈴木宣幸氏である。鈴木氏は83年に筑波大学比較文化学類を卒業した我々の先輩にあたる人物である。

出版業界では一位二位を争う講談社、出版というメディアにかかわる仕事とはどのようなものか、鈴木氏の考える仕事に必要な能力とは何か、などの事柄を実

際に聞いてみることにしよう。

—— 出版社のお仕事はどのようなものですか？

「営業って仕事もあるし、業務って仕事もあるけど、メインは編集だね。

女性誌があつて、週刊誌があつて、漫画誌があつて、後は現代新書とか、学術文庫とか、それから小説もあるしね。そういう意味でいうともちろん童話や絵本、美術書みたいなものまで出す。全てを出しているといつて良いのかな、そういう出版社です。講談社は」

—— 出版社の業務の多くを占める編集という仕事とは具体的にどのような仕事なのですか？

「原稿を書いてもらう、漫画を描いてもらう時の取材も一緒にやるし、ストーリーを打ち合わせるときもあるし、原稿が出来たらそれがちゃんと字が間違っていないか、それからその時代に本当にその言うものが有るのかってこともチェックする。それでさらに原稿が出来たらそれを本にする、形にするわけで、紙をどうする、活字の大きさをどうする、表紙

をどうする、カバーをどうする、本作り全部に関わって支持をします。

でも指示をするだけで、デザイナーさんにデザインは任すし、カバーイラストはイラストレーターに頼むし、こう全部のなんていうかな交差点の真ん中にいて全ての交通整理をして、基本的に全部責任をとって、クオリティの高いものにして読者に届けるってことをプロデュースするという立場かな。自分が本書くわけじゃない、本のデザインするわけでもない、写真撮るわけじゃない、でも一番責任者ってのが編集者の仕事。

作家とかカメラマンやお客さんに相對するだけでなく、業務計算をする社員と話をしたり、この本は定価いくらで売から、そのためにはどういう経費を使つてどのようなカバーを作らなければならぬというお金の話もしなければならぬ、本が出来たら本屋さんにこういう本ですっていう売り込みの文句を作ったりとか、ちよつと曰く言いいたい商売だね、うん。

今説明したのは書籍編集者であつて、週刊現代の編集部にいると、売る売らな

いは関係ない。毎週毎週記事の特集を、プラン会議に出して、編集長に採案されたら、その記事を三日か四日でとにかく四ページ作るって言う、そういう仕事になる」

—— ページを作るとは実際に記事を書いてしまうわけですか？

「書かないんだなこれが。プランが通るじゃない、例えば僕が何か裏話をしてくれる人を探したと。そうすると、記者を連れて行って、記者に色々な取材を頼む。記者の取材データが集まってくると、僕がそのタイトルをつけたとおりに、記事の設計図を作るわけ。こういう話から始まって、こういうコメントを入れて、こういう結論にして四ページ作りましよう。そうするとね、まとめ屋さん、アンカーさんという、まあリレーのアンカーから取っているんだけど、その人に材料を全て渡して、『僕はこういう意図で記事を作りたいのでお願いします』と言うと、三時間ぐらいで書いてくれる。そついうプロがいるんだよ。でその人に全て書いてもらう。でそれを貰って、そ

ただの紙に、意味を持たせる。

それが編集者の仕事。

それをチェックして編集長にOKを貰ったらそれを送稿する。そういう仕事(週刊現代編集部) 編集者の仕事」

——じゃあ編集者とは純粋に設計をするお仕事なのですね。

「そう、企画立案ということだね」

——インターネットなどの競争相手もいますが、出版業界の先行きはどうなのでしょう？

「俺にもわからないよ。わかんないって言つと無責任なんだけど、その今までの紙に印刷された本にまとまっているような情報ってものが要らなくなるわけじゃないよね。誰もがね、小説は読みたし、漫画は読みたし、新しいファッション動向は知りたいし、どこの飯屋が旨いか知りたいのはある。そういう取材力というものを出版社は常に持っているわけだから、ネットなのかデジタルなのか別の形になるかもしれないけれども、中身を作る力は常に有るわけなんで、それはどこにも負けないという自信は有

るわけだから……うん、もう紙にこだわらないかも知れない」

——コンテンツだけは何処にも負けない自信があると。

「その自信がなければやってられないわな」

——仕事のやりがいについて教えてください。

「出版社は経理もあるし、それこそ社長秘書も居るわけで、何をもって共通のやりがいというのは難しいんだけど、常に読者からストリートに売れる売れないで返ってくるわけじゃない。

例えばね、鉄工所において鉄板を作っていると。もちろん需要とかはあるんだけど、基幹産業だから、でも消費者からの手ごたえ無いよね、作品じゃないから。原料だったり材料でしかない。講談社で言えば、製紙会社の人は紙を作ってくれるし、インクを作ってくれる会社もあるけれども、そこに意味を持たせるのは出版社の仕事でしょ？インクが無きゃ

ダメ、紙が無きゃダメ、糊が無くちゃダメ、印刷してくれる会社が無きゃダメなんて色々あるんだけど、そこに価値を持たせるのは俺達だけ！という自負は常に、業務の人も編集の人もみんな持っていると思う。

それがまあ出版社に勤めているものの共通の自負じゃないかな。

文字には意味のある並び方があるわけで、それを考えるのは作家だしね。

そういうことを全部まとめていって、自社のお金で本を作るわけだから。作家は自分の金で本を作るわけではない。作る人も居るけれどもそれは自費出版になっちゃうからね。となると、自分達の金を使って、『これ面白いですよ！』と世の中に広める、そういう商売だね。だからこそ楽しいんだし、一冊こけても次頑張ればいいとなれるしね」

——逆に仕事のつらいところってありますか？

「うーん、難しいなあ。基本的にはつらいつて、嫌だと思つて逃げ出すことは一つも無いから。出来まస్తుいて大見得きつて、で、データが集まらないときとか、この日まで書かせますつて言つて書いてくれない時とか在るんだけど。

そんなの嫌だつていつて逃げたら、出版社にいたら、何回逃げたつて終わらない。だから無いよ。面白いだけだよ。うん、つらいことつて言うのは面白いことが待っている途中のつらさなんで、嫌ならやめりゃいいんだからさ。と思うわけ俺はね」

——仕事をする上で一番大切なものの何でしょう？

「基本的には人と会う商売ばかりだから、会った人に悪い印象を持たれないことね、それだけ。

何度も会つて行くうちにいい奴だつて

鈴木 宣幸氏のプロフィール

1960年愛知県生まれ。

79年岡崎高校卒、同年筑波大学第二学群比較文化学類入学。

83年、同大学卒。講談社入社。週刊現代編集部配属。

その後、文芸局文芸図書第三出版部、X文庫出版部、海外文芸出版部を経て、08年、広報室。

基本的なことが出来れば良い。

後は勝手に付いてくる。

わかるのは当然じゃない、あらゆる人間は。だとすれば初対面の時に、『あ、こいつともう一度あって話をしてみたいな』とか『あ、面白いこと考えてんじゃないの』何でも良いんだけど、そういう風に他人から思われる人間でないとやっていけないと思う。それはどんなタイプもあるわけで、二人も三人も似た様な奴はいらないわけでさ。結局同じタイプの人間が何人いたって、その出版社は同じ本しか作らないわけでしょ？そんなのはダメで、多種多様な人間が居てくれないと困る。けれども、唯一のみんなに共通するくくりというものは、初対面にあつた人間を不愉快にさせない。怒らせない、なんだあいつと思わせない。それが基本じゃないのかな」

——ということは、それさえ出来ていれば……

「あとは何でもいい。本を作るセンスはその先磨けばいいし、どんな作家の人が良いかと言われてもその作家の担当になれるかどうか限らないからね。

『これをしたいです！』って見たいな奴は、例えば『童話がやりたい』っていう講談社受けたら、『ポプラ社行っただけだ』っていうだけだよな。うん、やり

たいのは当然いいんだし、僕も少女漫画やりたいと言ったのに少女漫画に行かされずだな、週刊現代に行つて後は小説をずっとやっていたわけで。でもそれも嫌じゃないんだよ、二番手三番手として、

そんなのあつたつて全然楽しいし、面白かつたしね、俺みたいな奴ばかりじゃないから、難しいんだけどなこれは」

——同じ考えを持つ人ばかりではなく沢山の人を入れたいと。

「そうそう。自分ひとりで本を作るわけではないから。ここにもいっぱい人居るけどさ（そういつて周りを示す）、印刷所の人も居れば、デザイナーも居るし、フリーの編集者も居る。

いろんなスタッフがこのビルに集まっているわけだし、外にも依頼しに行くわけだから、さっきも話したけれどもとにかく誰にでも物怖じせず、話せる、ずんずんいける。そういう能力さえあれば後は勝手に何かついてくるよ」

——就職についての話を聞かせてください

「入社試験つてものは売り物だよな、『何やつてるの？』って必ず聞かれるわけだから、その時に、何をやってますと

か、何をやるのか探すのが私達の学部ですというか。なんでもね、言われたことを受けて返せるだけの才能があればいいと思う。俺もね、比較文化学類というところを出ていますつていたら『何やつてんだ』って必ず聞かれたわけだから、『何やつているのかつて言われても別に、その文学みたいなことですけども、アプローチが違います』と答えた。そうしたら、『どう違うんだ』って面接官が言ってくるじゃない。そしたらそれ答えりゃいいんで、それでつまらないと思われたら受かんないし、面白いと思われたら受かるし。

あのね、よその大学と比べて筑波は殆ど先輩いないから、どんなことやっているのかみんな知りたいんだよね。それをメリットと思えばいい。まあ二十何年前に筑波でたから、今と時代違うのかも知れないけれども、基本的に教育大の先輩はもう学校の先生にしかなくなっていないから。歴史浅いんだよね。みんなが良くわからない大学だと思っているから、それ

をだから自分の特徴にしてしまえばいい。他の大学なんてわざわざ何やつてるのかなんて聞いてきてくれないんだから。筑波だからこそ聞かれる。

だからこそ、そこを逆手に取ればいい」

——今どのような人材が求められているのでしょうか？

「さっきも言ったけど、俺が面接官だったらばつと見て、あ、こいつと仕事したいなと思わせればいい。実際に部下で、こいつが先輩で来てくれたらいいなという人材を取ってくれと会社からは言われているからね。あいつはよその部署ならいいんじゃないの？見たいに無責任に丸とかAとかつけないでくれと言われているから。筆記試験はしょうがないね。ちゃんと受けて通らなくてはならないんだけど、そんなものはマスコミ問題集見れば解るわけで、そこを勉強すれば良い訳だから。問題は面接なんだけど、講談社は四人ぐらい居て一人呼ばれるんだよね、で、エントリーシートを元に十五分

株式会社講談社

株式会社講談社は1909年設立、今年2009年に創立100年を迎える伝統のある企業である。

2008年時点で従業員は981人、2007年度の売り上げは1443億円、名実ともに日本で一位二位を争う規模の会社である。

少年マガジンなどのコミックスや、講談社ブルーバックス、青い鳥文庫、講談社文庫などのシリーズは誰でも一度は見たことがあるだろう。モットーは「面白くて為になる」

採用状況、方法などは講談社のウェブページ (<http://www.kodansha.co.jp/>) を参考のこと。

住所：〒112-8001

東京都文京区音羽 2-12-21

電話：03-3945-1111（番号案内）

ぐらいしゃべらされるんだけど、結局学生が想定しているような質問なんてしないんだよね。その場で聞かれてその場で答えられることで、機転が効いていて、もちろんうーんとか悩んでも良いんだけど、ああ、こいつ面白いなもう一回会ってみたいなと思わせればいい。で十五分以内に魅力が（面接官に）届けばいい」と

——アピールをするということですか？

「アピールと思うと緊張するからね。ガチガチの子いるの、緊張して。よく言うんだけど、俺達みんなの話を聞こうと四人並んでいるんだから、その前で緊

張していたら、次にどこ言っても緊張するじゃないってこと。そんな奴は要らないんだよ。質問すると自分で考えている答えに持っていこうとする、そんな奴もダメ。結局言われたらキャッチボールなんだから、言われたことを面白く、こっちが三回聞いたら七返すような奴でないとダメね。でもそんなの勉強しても意味無いんだよ。だって人柄で勝負なんだから、与えられた十五分間で好きなこと言えば良いんです。だから作戦も何も無い。とにかく情報に貪欲で何かを面白がるという自分の基準があるということを示せばいい。自分の面白さなんてことは付け焼刃では言えない。毎日どう面白

がっているかということが勝負」

——学生時代しておくことってなんですか？

「そんなこと好きなことをしておけばいい。俺は学生時代は本ばかり読んでいた。

本好きが昂じて出版社の先輩が採用って言ったただだからさ。本の読んでいる量には自信があったからね。友達同士部屋に行くじゃない。圧倒的に俺の本が多いのね。安いんだもの本なんて、文庫本なんて俺等の頃は百円二百円が当たり前だった。まあ物価も違つからなんとも言えないけど、バイトなんてしなくても仕送りだけで十分好きな本買えたからね。

後はレコード、CDないからね。レコード買って聞いたりと。だからメディア摂取と言う点では、レコードだろ？それからテレビ見て、映画見て、本読んで漫画読んでつてのを四年間ずっと繰り返していたわけだから。あれやればよかったなと思うことなんて一つも無い。全然くいはないよ。筑波で良かったしね。雑念ないしね。ただ知り合う女子大生が少ないってのが難点だったけどさ。

何をやってればいいのかってことは自分の問題でしょ。それで就職の時には、

四年間こうしてましたってのはもうアピールしてるんだよねみんな。で、かつつけてこんなマーケティングを考えて、こんな広告を考えましたとか言っても学生の考えることなんてたかが知れているでしょ？そんなに背伸びしないで自分のやってきたこと、面白がつてきたことさえ言えて、ちゃんと相手の質問、学生が予想していない質問に対して、動じずに「ああ、それはそういうことです」と必ず自分の言葉で返せば、後は採用する側が面白いと思うかどうかは、向こうの勝手なんだから、ビビらない。あせらない。動揺しない。それで済むこと」

——ありがとうございます。最後にメディア創成の学生に向けてメッセージがありますがありましたらお願いします。

「人生楽しめ。面白いと思うことをやれ。でも面白いことをやるためには面白くないことを百ぐらいやらなくちゃ面白いことはできない。何が面白いかそれを探るのが大学の四年間だからね、頑張つて下さい。後輩相手なので、ざつとばらんに話しますけど、普通はもっとマジメですからね、私は」（終）

【構成・編集：高井】

キャンパスを覗く

特集 活用しよう大学施設 in 春日

筑波大学春日地区にある多くの施設や機材、皆さんはどこまでご存じだろうか？
授業以外はほとんど利用しないというアナタももう使い慣れて完璧というアナタも
これを読んで再確認しよう！

文・レイアウト 落合



7C202 (実習室Ⅲ)

プログラミング系の授業でおなじみの教室。七十台あるパソコンには Windows と Linux の二種類の OS が入っている。印刷機は二台付いており白黒印刷、カラー印刷の両方に対応されている。今年度からはこの教室の二十四時間利用が可能となった。

また、実習室Ⅲでは多くの機材を貸し出している。主に挙げられる機材はノートパソコンやカメラ、MIDI キーボードなどだ。これらは春日サテライトに行くか、管理している教員に許可をもらえば利用できる。もし、自分では買えない様な機材を使いたいときがあれば訪ねてみてはどうだろうか？

クリエイティブ・メディア・ラボ

メディア・ラボ

通称クリラボ。メディアユニオン二階に新しく出来た施設だ。

イラストレーションやフォトレタッチのためのデザイン環境が整備されている。HD レベルのビデオ編集や三次元 CG を製作するための設備も充実している。クリラボからは早くも HD ショートムービー、VR、ポスター、DVD パッケージデザイン、BGM、アニメーション等の様々なコンテンツが生まれている。

音響・心理ラボ

(7B232)

主に音響実験や心理実験などを行うために作られた施設。場所は大学春日地区二階の研究棟と講義棟の間の学類長室の向かいの部屋に位置している。音響実験や心理実験を目的ということで五台あるパソコンにはデータ解析や音声加工などに便利なソフトが多く入っている。また、大音量の音にも対応できるよう防音設備が整っているのも特徴の一つだ。

教えて！ ここがここが分からないQ&A

Q 実習室Ⅲを 22 時以降も利用したいときはどうすればいいの？

A 実習室Ⅲを 22 時以降も利用するためには学類長からの許可が必要である。許可をもらうためには下記 URL のサイト（※学内からのみ）で申請書を印刷し、必要事項を書き込み春日講義棟 2 階にある春日サテライト事務室へ提出すれば良い。申請自体にはある程度の時間がかかるかもしれないが、1 度申請の許可が下りれば卒業するまで利用することができるので、機会があれば申請してみることをお勧めする。

Q クリラボや音響・心理ラボを実際に使ってみたいのだけど…？

A クリラボと音響・心理ラボも同様に下記 URL のサイトで申請書を印刷し、必要事項記入後、春日ランチに提出する必要がある。特にクリラボについては入退室のためのアカウントを作らなければならない。基本は 22 時までの使用であるが、7 月から実習室Ⅲ同様、申請書を出して許可をもらえば、24 時間利用可能となった。

詳しくは下記の URL または春日サテライト事務室まで ↓
URL : <http://www.mast.tsukuba.ac.jp/fc/wiki/index.php>

7C102 (実習室Ⅰ) 7C103 (実習室Ⅱ)

図書館情報専門学群や知識情報・図書館学類の学生が主に使っている教室である。実習室Ⅰには六十一台、実習室Ⅱには三十九台の全学計算機システムの端末が入っている。Adobe Creative Suite が全て揃っているというところも見逃せない。

二台ある印刷機はどちらも白黒印刷専用。カラー印刷をしたいときは7B204へ行かなければならない。また、印刷時は学生証をかざすだけでボタン入力をしなくてもよい便利な設備になっている。

7B204

図書館情報メディア研究科のスキヤナやポスタプリンタがあり、比較的大きなサイズのものも印刷できるようにしている。これは基本誰でも使うことができるのでぜひ利用してみたいかがだろうか？ただし、ポスタプリンタを使う際は使用簿に名前などを明記する必要がある。比較的小さな部屋だが大きな机があるなど話し合いにも適した場所になっている。

※他学類のプリント出力に掛かる費用は、後日学類に請求されることになります。

実習室利用時間

月曜～金曜

8:00～22:00

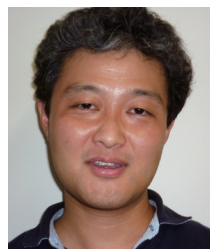
(8:20～18:00までの間、実習室Ⅰ・Ⅱは常に解放)

土日・祝日

10:00～18:00

飲食禁止、省エネに協力するなどルールを守って利用しましょう!! また、創成開設の集中授業を積極的に受けることで**使える機材が増える可能性も…?**

研究室を覗く



志築文太郎

システム情報工学研究科
コンピュータサイエンス専攻
インタラクティブ
プログラミング研究室

当研究室 (IPLAB) では、新しいインタラクティブシステム (コンピュータとの関わり方) の実現を目指して研究を行っています (例「ペンの影を用いて OHP 風の指示ができるプレゼンテーションツール」, 「円筒型マルチタッチインタフェース」)。

IPLAB の特徴の一つに、濃密なゼミがあります。週一回の専門英語ゼミと全体ゼミ、週二回のグループゼミがあり、専門知識の学習と、研究に関する議論をじっくり行っています。また、年間行事として春合宿、夏合宿もあります。学生には、学会発表を勧めています。というのも、学会発表において同分野の研究者と議論して得られた知見、さらに他の研究成果を見聞きして得られた知見を自分の研究にフィードバックすること (研究サイクル) の方法や意義が実践的に習得できるからです。また、この研究サイクルを一回しすることを体験するためにも、学生には大学院への進学を勧めています。

IPLAB では、アイデアを出し、そのアイデアを確かめるプログラムを作成することが必須です。もの創りが好きな人、プログラミングが得意な人、プログラミングが好きな人を歓迎します。(志築文太郎)

このコーナーでは情報メディア創成学類にある研究室を紹介していく。記念すべき第一回目は志築文太郎先生の研究室をチェック!

この研究室に入って

私達の研究室では、先生方の細やかな指導と、仲間同士での議論を通して、自分たちが考えたアイデアを研究テーマにすることが出来ます。私も初めは不安でしたが、最終的には学会発表をする機会を得ることが出来ました。

インタラクティブプログラミング研究室は自分のアイデアを元にした研究を、先生方、先輩方の力を借りてより良いものにできる非常に恵まれた環境です。最終的には自分のアイデアが形になるので、一から何かを作り上げるのが好きな人にとっては楽しいと感じられる研究室だと思います。

(野上僚司・院生一年コンピュータサイエンス専攻)

TOPIC

大学院進学説明会開かれる

六月十九日金曜日に春日講義棟7A205にて情報メディア創成学類の大学院進学説明会が開かれた。もともと、情報メディア創成学類の筑波スタンダードにも学生の八十%以上が大学院に進学することを目標としているということが記載されており、大学院は情報メディア創成学類生にとって大変重要な進路となっている。約四十名の学生が集まり、コンピュータサイエンス専攻と図書館情報メディア専攻の紹介や、大学院生活の紹介などを聞いた。学類三年生を対象としていたが、中には二年生の姿も見られ、学生達が大学卒業後の進路について真剣に向き合っている様子が窺えた。

授業を覗く！

長くて短かった夏休みも終わり2学期が始まった！皆さん、もう履修登録はもう済んだだろうか？このコーナーでは皆さんが履修できる授業を一部紹介していく。
まだ履修に迷っているそこのキミ！このページ、要チェックだ！！

信号とシステム

担当教員…田中和世
二学期 火曜一、二限 単位数…二
専門基礎・選択 履修年次…二年
教室…7A106、7C202

授業内容

ディジタル信号とシステムの概念について学び信号処理の基本技術を習得する。連続時間信号システム、ディジタル信号システム、信号処理技術について、基本概念、重要要素技術に関する理論と応用を学ぶ。(シラバスより引用)

先生から

この科目は、音楽・音声・画像・映像・生体計測など広範な情報処理技術の基礎となります。ディジタル信号処理の概念は一年次までの科目と若干違っているのですが、まずはその概念に慣れることです。見かけ上、数学的要素が強いですが、難しくはありませんので、積極的に取組めばその面白さも理解できます。

(田中和世)

この授業を受けた感想

あくまで昨年度の話です。主に、音声

信号や画像信号に関する処理、変換システムについて学びました。話の内容や出てくる数式などは難しく感じ、また多くの定義式がでてきました。テスト前にこれらの定義式の暗記をした覚えがあります。テストは難度が高く全体的に点が悪かったのか、最終的に点数の底上げ用にレポートが追加されました。

(三年 高木寛)

科学技術史・発想法

担当教員…磯谷順一
二学期 木曜一、二限 単位数…二
専門基礎・自由 履修年次…一～四年
教室…7A105

授業内容

インターネットが普及し、また、オンラインジャーナルなどにより、研究の動向をつかむことが容易になった。しかし、そのことは、研究において新しい道を切り開くことには必ずしもつながらない。本講義においては、科学及び科学技術発展の歴史において、ブレークスルーとなった独創的な発見や製品実用化の工夫がどのような発想からもたらされたかという観点から、具体的な例を対象に考

察する。(シラバスより引用)

この授業を受けた感想

数々の日本人ノーベル賞受賞者達の新しい発見に至るまでの経緯について多くの話を聞きました。

たくさんさんの失敗を繰り返しながらも、ひたすら研究に時間を注ぎ、偉大な発見が生まれる工程を聞くと研究者という仕事は改めて大変なんだなと思いました。将来、研究に身を捧げたいと考えている人にはなかなかいい授業ではないかと思っています。授業の雰囲気も一年のときに受けた私は初めての自由単位の授業で図情の方も多く受けているなど少し新鮮な感じでした。

(二年 落合香織)

この授業では主に化学や物理の分野のさまざまな発見について、経緯を含めて学んでいきます。例えば、最近話題になった緑色蛍光たんぱく質など科学の中でも有名な研究を対象とすることも多く、まるで高校時代の科学の資料集のコラムのページを読んでいるかのような、そんな気分になさしてくれる授業だと感じました。

(二年 小野寺弘晃)

【原稿…落合】

←次からは他学類の授業、まずは1学期の振り返りから

情報メディア論

芸術専門学群 担当教員・李昇姫

一～三学期 木曜三限 単位数・三

履修年次・三年 教室・6B302

テキスト講読を中心に、1学期は周辺言語なるものについて学んだ。周辺言語とは、私達が普段話すときに用いている声色や目の使い方、身振り手振りなどである。しかしこれが奥深い。文化が違うごとに周辺言語も大きく異なってしまうのである。この授業ではそのような文化等を背景とする差異についてディスカッションし、互いに理解を深める。1学期末は文化的差異によるディスコミュニケーション・ソリューションを解決できるようなコミュニケーション・ツールを提案し合った。

芸専3年生に囲まれて、唯一の他学類として参加。当初はディスカッション主体の授業にいささかの不安を抱いていたものの、先生もプロダクトの方々もとても気さくであり、発想も理系畑の私達と異なることから授業に行くのが毎回楽しみであった。5月のよく晴れた日には自転車で松見公園に行き、植物の写真を撮ったりスケッチをしたりして、自然界にある美しい曲線をアイコンに応用する練習をした。1学期末の試験は発表されたツールが素晴らしく、現実のものにした

※「歴史社会学」との隔年開講です。二〇一〇年度は開講しません。

たくてうずうずした。固定観念から脱却したい人にぜひオススメする授業である。通年の価値あり。

※メディアと

情報化の社会学

社会学類開設 担当教員・野上元

一学期 金曜三四限 単位数・二

履修年次・二～四年 教室・1C310

メディアとは何か、そして情報とは何か？から始まり、学期中盤にはなんと核兵器すらもメディアとして捉え、授業が展開されていく。戦争における核兵器の位置付け、戦争に対する新聞各社の報道の有様、さらに新聞とはどのようなメディアか、どのような企業を子会社として抱えているのか、と話は広がる。また、フォト・ジャーナリズムについても写真家・ロバート・キャパを中心についても取り扱う。先生ご自身専門の、戦争を社会的に読み解く作業を通してメディアについて考えを深めていく。

まずメディアという言葉の定義から、社会学と私達とは異なるということに注意したい。社会学では、メディアのメッセージ性についても考える。例えば告白する場合、相手の目を見て直接「好きです」と言うのと、手紙をしたためるのと

では、その雰囲気が変わってくるだろう。このように、メディアは器、コンテンツは中身と考える私達にとって、社会学におけるメディアの捉え方は斬新であり、刺激的である。勿論面白いのは異分野間のコミュニケーション・ギャップだけではなく、授業内容自体も大変興味深い。いつもとは少し違った視点で街を歩き、社会を見渡したい人にオススメする授業である。

社会工学特別講義

(数学の言葉)

社会工学類開設 担当教員・吉瀬章子

二学期 金曜六限 単位数・一

履修年次・一、二年 教室・3A305

日頃数学を使っている理系の中にも数学独特の言葉遣いに違和感を覚え、苦手意識を持つ人がいるのではなからうか。そんな人に朗報なのがこの授業。大学数学まで進んだ私達に、改めて数学の言葉遣いを教授してくれる。

「中学までは数学は大得意だったのに、高校に入ったら悲惨なことに……」「応用系だけど、そんなに数学できないし……」今これを読んでいてドキッとした人、私と一緒に受けましょう。現代文が出来て、かつ数学に苦手意識を持っている人は尚

更。現代文を読むようについ日本語に厳密になってしまい、数学独特の日本語に慣れずにここまで来てしまったのでは？言葉の壁を打破して、数学への片思いを叶わせる第一歩を踏み出しませんか？

人間関係論

看護学類開設 担当教員・徳田克己

二学期 火曜五限 単位数・一

履修年次・一年 教室・4B211

看護をする際、病院・診療所で実践的に使える人間関係の学である。授業はテキスト講読を主体に進められ、毎週膨大なレポートを要求されることで有名。だが、学類内外から毎年高い評判をものにしている授業でもある。

レポートが膨大であること、テキスト講読のためテキストを購入しなければならぬこと等々、苦しいことで有名な授業である。しかしそれでも他学類からの受講者が絶えないのは、授業1回1回が濃密であり、学期末に達成感があり、何より現実に使える理論・ノウハウを習得する授業だからであろう。実践的な視点に立つ看護学の間人間関係学には、私達が難解に感じることもある人間関係を円滑にするヒントがちりばめられているであろう。

【原稿・澤幡】

第1回

全学計算機を学外から利用しよう！

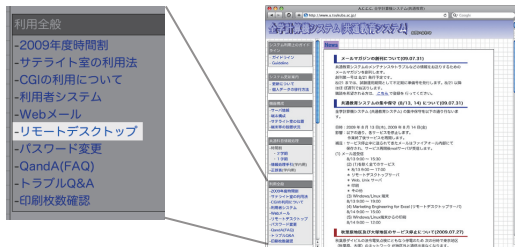
おまけコラム：MSDNNA を使おう

テスト環境：Mac Pro 2.8Ghz 8core / OS：Windows Vista, Mac OS X 10.5.7

この記事を読むと

- ・全学計算機システムにファイルを忘れてきても焦らない。
- ・少しネットワークの知識が増える。
- ・履修申請の為に計算機室にこもらなくても済む。
- ・研究や学習の為に Microsoft のソフト達を無償で使える事に気づく。

①全学計算機の Webpage から開始



筑波大学全学計算機システムの Webpage のメニューから「リモートデスクトップ」をクリックする。Citrix のクライアントをダウンロードする必要があるが、特に複雑な設定をする事なく全学計算機システムにアクセスする事が出来る。

<http://www.u.tsukuba.ac.jp/>

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

1 全学計算機システムを学外から利用する

全学計算機システムは春日地区の実習室 II を始めとする、学内にある多くの計算機室で利用できるシステムである。学内各所の図書館で利用する事も出来るので、専用の計算機システムのある創成学類の学生が使用する事も多いだろう。このシステムでは Windows と Linux の二種類の OS を使用出来る。

全学計算機システムの Windows 環境を外部から利用するには「リモートデスクトップ」、Linux 環境を利用するには「SSH」という接続方法を用いる事になるのだ。

リモートデスクトップ

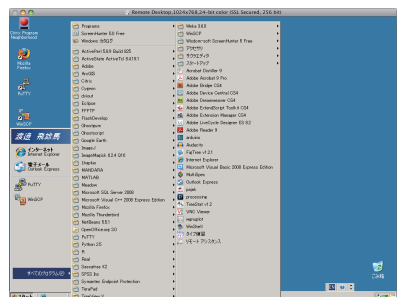
リモートデスクトップを用いて全学計算機システムの Windows を利用するのはさほど難しい。筑波大学全学計算機システムの Webpage にアクセスし、表示されるガイドに沿う形で設定は完了する。

SSH と Linux

SSH を用いて Linux を操作する方法は、リモートデスクトップで Windows を操作するのと比べると多少難易度が高い。SSH では、Linux の GUI 環境を利用する事が出来ない。そこでターミナルエミュレータによる CUI で操作する事に成るが、Linux の基本的なシェルコマンドに関しては創成開講の「コンピュータリテラシ」の講義で学んでいるから大丈夫だろう。CUI による操作は文字データのみをやり取りする為、それほど回線が早くない環境においては Windows のリモートデスクトップよりも快適に使えるだろう。なお、この理由により、GUI を必要とするアプリケーション（Firefox や Thunderbird 等）を起動する事は出来ない。

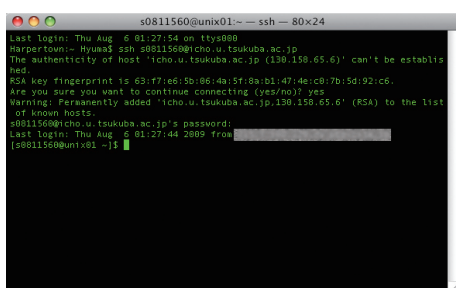
SSH は、自分が使用している PC の OS によって接続までの手順が異なるので注意してほしい。ここでは、Mac OS X を使った方法と、Windows を使った方法の二種類を紹介する。

②実際の画面



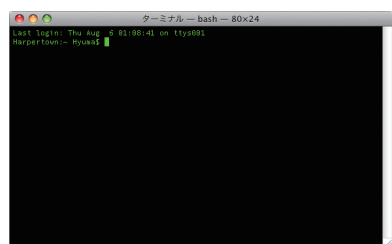
実際のリモートデスクトップの環境は、学内の端末とは多少異なる。特に、使えるアプリケーションが異なる事に留意しておく。とは言う物の一通りのアプリケーションはそろっている。

② SSH でログイン



ターミナルに `ssh xxx@ichu.u.tsukuba.ac.jp` と入力し、リターンキーを押す。「xxx」の部分は、学内の端末にログインするときのユーザ名（学籍番号下7ケタ）だ。初めて接続する場合は、RSA 公開鍵の認証手続きの確認を求められる。その際は `yes` と入力して確定。パスワードを求められるので、統一認証のパスワードを入力すると接続完了だ。「ls」や「cd Desktop」等と入力してみて、そこが自分の全学計算機システムに置けるホームディレクトリである事を確認してみよう。femacs」や「vim」等のコンソールアプリケーションの実行も試してみると良い。

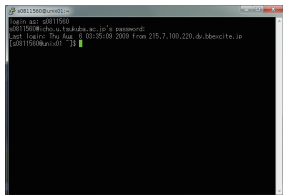
①ターミナルを起動



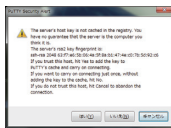
Mac OS X に付属のターミナルエミュレータは、アプリケーション / ユーティリティ / ターミナルにある。起動するとウィンドウが開き、入力待ちの状態になる。ターミナルの色や文字サイズ等の見た目はターミナルの環境設定で変更できる。

Mac OS X の場合

③ SSHでログイン

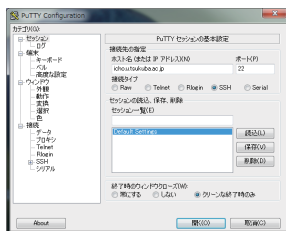


ターミナルエミュレータらしい画面が表示され、ユーザ名の入力を求められる。そこで「s+ 学籍番号下7桁」を入力して確定。続けてパスワードを入力すると、全学計算機システムへのSSHでのログインが完了する。いくつかシェルコマンドを打ち込んで確認しよう。



初回接続の場合はMac OS Xの場合と同じく、RSA公開鍵の認証手続きの確認を求められる（上図）ので、「はい」を押そう。

②接続設定



PuTTYjp.exeを実行すると、上図のようなウィンドウが表示される。「ホスト名」の欄に icho.u.tsukuba.ac.jp と入力し、「開く」ボタンを押す。

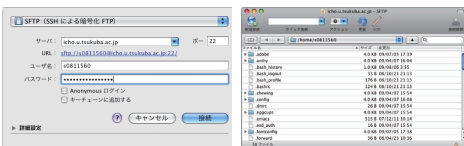
① PuTTYjpのインストール



Windowsのターミナルエミュレータである「コマンドプロンプト」はSSHに対応していない。そこで、サードパーティー製のSSHクライアントをダウンロードして使用する。ここではSimon Tatham氏の開発したPuTTYのHideki Eiraku氏によるカスタム版であるPuTTYjpを使用して解説する。以下に掲載するURLからPuTTYjpをダウンロードして適当な場所に解凍し、PuTTYjp.exeを実行してほしい。なお、Hideki Eiraku氏は筑波大学の卒業生である。

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA024651/>

② SFTP 接続



Cyberduckを実行し、「新規接続」ボタンをクリックすると左上図のようなダイアログが表示される。図のようにプルダウンメニューから「SFTP」を選択し、「サーバ」に icho.u.tsukuba.ac.jp と入力する。ユーザ名はs+ 学籍番号下7桁となり、パスワードは統一認証パスワードを入力する。そして「接続」ボタンをクリックすると、右上の図のように全学計算機システム上の自分のホームディレクトリの中が映るようになっているはずだ。この画面でファイルの送受信ができる。

① Cyberduckのインストール



SFTPによるファイル転送は、Mac OS Xのターミナル上で行う事が出来る。しかしそれではGUIが使えずわかりづらいので、今回はCyberduckというDavid V. Kocher氏による統合ファイル転送ソフトウェアを使用する。なお、このソフトウェアはオープンソースなドナーウェアである。以下にURLを掲載するので、ダウンロードして実行してほしい。

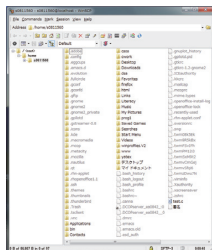
<http://cyberduck.ch/>

Mac OS Xの場合

残念ながら紹介したリモートデスクトップとSSHでは、ファイルのやり取りをする事が出来ない。そこで登場するのがSFTPである。SFTPを用いれば、全学計算機システム上にファイルを転送したり取り出したりできる。ここでもMac OS Xを用いた場合とWindowsを用いた場合に分けて方法を解説する。

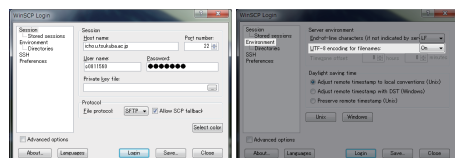
2 全学計算機システムとファイルのやり取りをする

③ SFTP 接続



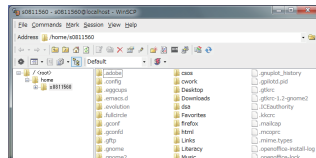
接続に成功すると、全学計算機システム上の自分のホームディレクトリが現れているはずだ。この画面でファイルの送受信を行う。なお、WinSCPには、ノートンコマンドモードと、エクスプローラーモードという2種類の表示方法があるので、自分に合う表示方法を選んで使うと良い。

②接続設定



WinSCPを起動すると、左上の図のような設定画面が現れる。「Host name」に「icho.tsukuba.ac.jp」と入力し、「User name」には「s+ 学籍番号下7桁」を、「Password」には統一認証パスワードを入力する。このまま「Login」してもいいのだが、日本語の文字化けを防ぐ為に、文字コードを指定する。左のメニューから「Environment」を選択すると、右上の図のような画面に変化する。そして「UTF-8 encoding for filenames」を「On」にするすると日本語のファイル名が文字化けしない。済んだら「Login」をクリック。

① WinSCPのインストール



SFTPによるファイル転送をWindowsで行うためには、対応するクライアントをインストールしなければ成らない。この説明ではMartin Prikryl氏の製作したWinSCPというソフトウェアを用いる。このソフトウェアはオープンソースなフリーウェアである。

<http://winscp.net/eng/docs/lang:jp>

さて、これよりよく学外から全学計算機システムを利用し、同システムとファイルのやり取りも出来るようになった。そこでこれをどう活用するかが重要になってくる。ここでは参考として、筆者が考え、実際に利用している活用方法をいくつか紹介する。

Cコンパイラを使う

情報メディア創成学類1年次の必修科目である「プログラミング実習」では、C言語を実習形式で学ぶ。この場合当然C言語のコンパイラが必要になってくる。授業中は創成計算機システムを利用するからいいのだが、授業時間外にも課題をこなしたり、自主学習を行わなくてはならない。

(次ページに続く)

USBメモリ代わり

「大学に入ったらUSBメモリの一つは持っておく物である」とは言うが、筆者は其の限りではなかった。全学計算機システムは基本的には常に稼働しているの、そこにボンと預けていたのだ。全学計算機システムには、春日地区実習室IIIに存在する創成計算機システムからでも同様にアクセス可能だ。創成学類に所属する学生はこの創成計算機システムを利用する事が多いだろう。現状創成計算機システムに学外からアクセスする事は認められていないが、一度全学計算機システムにファイルを預ける事で、授業中作成したデータ等を自宅から出し入れする事が出来る。USBメモリを活用している人も、とりあえずデータを全学計算機システムに預ける事を習慣づけられ、いざというときにきつと役に立つはずだ。

3 学外から全学計算機システムを利用するメリット

そのために大学の計算機室にこもるのは嫌だという方も多いだろう。自宅から時間をかけて通学している方ならなおさらであろう。この問題は、全学計算機システムにSSHにてアクセスし、C言語のコンパイラ「GCC」を利用する事で解決できる。GCCの使い方は前述の「プログラミング実習」で教わる方法と同じである。ただし一つだけ気をつけて欲しい事がある。創成計算機システムと全学計算機システムとは、GCCのバージョンや全体的なシステム環境の違いにより、コンパイラの挙動や作成したプログラムの実行結果が違ってくる可能性があるのだ。現状は両者のOSの環境は似ていて、GCCのバージョンも等しい(8月18日現在)が、今後これが変化する可能性がある事は覚えておいてほしい。実習に置ける提出課題のソースコードは、必ず創成計算機システム上でコンパイルと実行を行い、確認しておく事を御勧めする。

その他アプリケーションを使う

リモートデスクトップで利用できる利用できるアプリケーションの中には、高価な商用アプリケーションもある。一例を挙げれば、MATLABやAdobe Dream Weaver CS4等は創成学類の学生がお世話になるりそう。こういったアプリケーションを、「無料」で利用できる事はとてもすごい事だ。

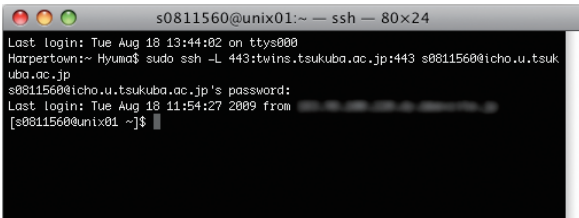
ここで紹介したいいくつかの活用方法は、私がつたない頭で思いついて、実際に使っている物だ。聡明な読者の皆様には、より有効的な活用方法を各々で見出して、勉強や趣味の手助けとしてほしい。

4 学外からTWINSを利用する

我が筑波大学の誇るWebベース科目履修登録システム「TWINS」。これをいじった事の無い筑波大学生はいないはずだ。この「TWINS」には一つ大きな弱点がある。それは、学内ネットワーク内に限りアクセスが許可されているという事だ。セキュリティ上仕方無い事だが若干不便である。そこで今度はSSHトンネリングという手法を用いて外部から「TWINS」にアクセスしてみよう。これを使えば、学外からでも「TWINS」にアクセスし、履修登録や成績参照などの作業が行えるのだ。流れとしては、SSHトンネリングの設定を行った後ブラウザで「TWINS」にアクセスする。ここからはまたOS別に解説しよう。

Mac OS X の場合

①ターミナルでトンネリング



まずターミナルを実行し、
`sudo ssh -L 443:twins.tsukuba.ac.jp:443 xxx@icho.u.tsukuba.ac.jp`
 と入力して確定する。xxxの部分はs+ 学籍番号下7桁だ。すると、今使用しているPCでのアカウントのパスワードを求められるので入力する。その後に統一認証パスワードを要求されるので入力。すると全学計算機システムにSSHで接続したときと同じ状態で入力待ちになるのでそのまましておく。

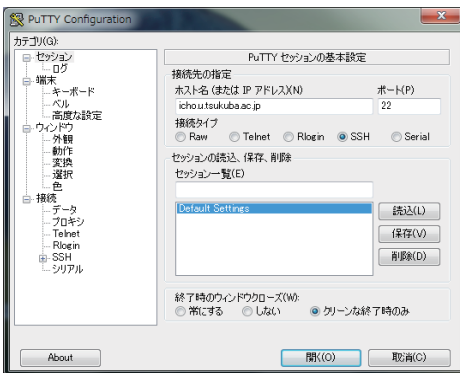
③ブラウザでTWINSにアクセス



ブラウザを立ち上げ、URLを入力する欄に
<https://localhost/tbu/campus/>
 と入力すると、TWINS-U (学群生用TWINS) のログインページが表示される。なお、
<https://localhost/>
 とだけ入力すると、TWINSのトップページを表示する事が出来るが、その後のリンクが機能しないため、上述のように直接ログインページを表示する。

Windows の場合

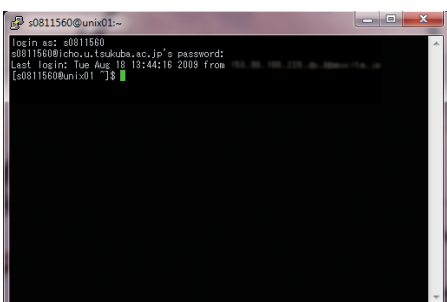
①PuTTYjpでトンネリング



WindowsでSSHトンネリングを行う際は、先ほど紹介したPuTTYjpを使おう。PuTTYjp.exeを実行し、接続設定画面を表示する。

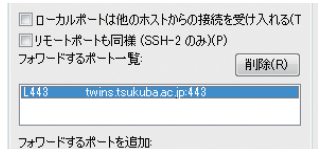
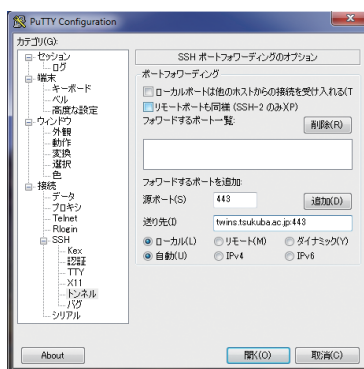
「ホスト名」の欄に
 icho.u.tsukuba.ac.jp
 と入力する所まではSSHの時と同じだ。

③トンネリングの開始



「開く」ボタンを押すと、統一認証パスワードを要求されるので入力。すると全学計算機システムにSSHで接続したときと同じ状態で入力待ちになるのでそのまましておく。

②トンネリングの設定



次に左の「カテゴリ」メニューから、「/ 接続 / SSH / トンネル」を選択する。そして左図の様に、「源ポート」に「443」を入力し、「送り先」
 twins.tsukuba.ac.jp:443
 と入力する。「追加」ボタンをクリックすると、直ぐ上のテキストフィールドに「L443 twins.tsukuba.ac.jp:443」と表示されるので上の図のように、クリックして選択した状態にする。

以上で MAST 創刊号技術紹介「学外から全学計算機システムを利用する」と「学外から TWINS を利用する」を終える。ここまで読んでくれた方には感謝が絶えない。「技術紹介」というタイトルでこのコーナーを設置する事が決まっていたから、テーマを試行錯誤した。ただ単にアプリケーションの使い方を紹介するという案や、コンピュータに関する基礎知識の解説をするという案もあった。今後はそのような記事も掲載する事に成るかも知れないが、「創成の学生のためになる」というこの学類誌そのもののコンセプトを考え、創刊号である今回はこのような記事に成った。少しは役に立つ情報を発信できただろうか。このコーナーでは次号以降も技術的な面で学生生活を豊かにできる情報を発信して行くつもりである。其の為にもし可能ならば、本誌挟み込みのアンケート、若しくはページ下部のメールアドレス宛に厳しき意見で感想をいただけたら幸いである。

④ブラウザで TWINS にアクセス



ここは OSX と同じ。ブラウザを立ち上げ、URL 欄に <https://localhost/tbu/campus/> と入力すると、TWINS-U (学群生用 TWINS) のログインページが表示される。なお、<https://localhost/> とだけ入力すると、TWINS のトップページを表示する事が出来るが、その後のリンクが機能しないため、上述のように直接ログインページを表示する。

おまけコラム

MSDNAA を使おう

MSDNAA は Microsoft Developer Network Academic Alliance の略で、Microsoft 社が提供しているサービスの一つである。情報メディア創成学類はこの MSDNAA の契約を Microsoft 社と結んでおり、学類生はこのサービスを受ける事が出来るのだ。詳しい説明は「春日地区における計算機・ネットワーク」の Website <http://www.sjis.tsukuba.ac.jp/ipc/> に掲載されている。この MSDNAA のサービスにより、情報メディア創成学類の学生は、Microsoft の開発環境や各種 OS を「教育・研究の目的に限り」「無償で」使用する事が出来る。折角大学が契約してくれているのだから、これを利用しない手はない。MSDNAA では、Windows XP, Windows Vista はもちろんだが、Windows Server 2008 Enterprise (定価 72 万円) や Visual Studio 2008 Team Foundation Server (定価 38 万円) 等の高価なソフトウェアであっても無償で使用できる。なお、MSDNAA で提供されているソフトウェアを入手するには、ELMS という Web ベースのシステムを使用する。前掲した「春日地区における計算機・ネットワーク」の Webpage からリンクをたどるのが早い。直接 URL <http://msdn51.e-academy.com/elms/Storefront/Home.aspx?campus=not.isc> を打ち込んでみよう。ELMS にログインする為のユーザ名とパスワードは各自大学から割り当てられたメールアドレスに対して送られている。また、ELMS を用いたソフトウェアインストールディスクのダウンロードには Windows が必要になる。Macintosh や Linux しか所有していない方は春日ランチでインストールメディアを借りるのがよいだろう。ただし、この場合でも、ソフトウェアのシリアルナンバーの獲得には ELMS を用いる。

皆さんはこの MSDNAA の存在を知っていただろうか。もちろん多くの学生は知っていたと思う。しかし、学類一年次の皆さんや一部の方は未だこのサービスを知らないだろうと思う、第一回「技術紹介」おまけコラムの題材を MSDNAA に定めた次第である。前回のクラス連絡会アンケートで「開発環境が高くて買えないので、創成計算機システムを 24 時間開放してくれ!」と切実な願いを書いていた方は、これでほぼ解決できるのではないだろうか。また、自宅に転がっている使っていないコンピュータがある方は、「教育・研究目的で」Windows Server 等をインストールしてみるのが一興かも知れない。

製品名	価格
Access 2007 (Japanese)	Expression Studio (Japanese)
Expression Studio 2 (Japanese)	Frontend Client Security (x86 and x64) - CD (Japanese)
Frontend Security for SharePoint with Service Pack 2 (x64) - CD (Japanese)	Frontend Security for SharePoint with Service Pack 2 (x64) - CD (Japanese)
Frontend Security Management Console (x86) - DVD (Japanese)	Frontend Security Management Console (x86) - DVD (Japanese)
Infopath 2007 (Japanese)	MSDN Library for Visual Studio 2008 (x86 and x64 WOW) - DVD (Japanese)
MSDN Library for Visual Studio 2008 (x86 and x64 WOW) - DVD (Japanese)	Office Communications Server 2007 Enterprise Edition (x86) - CD (Japanese)
Office Communications Server 2007 Enterprise Edition (x86) - CD (Japanese)	Office Communicator 2007 (Japanese)
Office Communicator 2007 (Japanese)	Office Groove 2007 (Japanese)
Office Groove 2007 (Japanese)	Office PerformancePoint Server 2007 (x64) - CD (Japanese)
Office PerformancePoint Server 2007 (x64) - CD (Japanese)	Office PerformancePoint Server 2007 (x64) - CD (Japanese)
Office PerformancePoint Server 2007 (x64) - CD (Japanese)	Office Project Server 2007 with SP1 (x86 and x64) - CD (Japanese)
Office Project Server 2007 with SP1 (x86 and x64) - CD (Japanese)	Office SharePoint Server 2007 SE and TE with SP1 (x86 and x64) - DVD (Japanese)
Office SharePoint Server 2007 SE and TE with SP1 (x86 and x64) - DVD (Japanese)	Onedrive 2007 (Japanese)
Onedrive 2007 (Japanese)	Project Professional 2007 (Japanese)
Project Professional 2007 (Japanese)	Search Server 2008 (x86 and x64) - CD (Japanese)
Search Server 2008 (x86 and x64) - CD (Japanese)	SharePoint Designer 2007 (Japanese)
SharePoint Designer 2007 (Japanese)	SQL Server 2008 Enterprise (x86 and x64) - DVD (Japanese)
SQL Server 2008 Enterprise (x86 and x64) - DVD (Japanese)	Virtual PC 2007 (Japanese)
Virtual PC 2007 (Japanese)	Virtual PC 2007 64bit (Japanese)
Virtual PC 2007 64bit (Japanese)	Visual Basic 6.0 Enterprise Edition - Disc 1 (Japanese)
Visual Basic 6.0 Enterprise Edition - Disc 1 (Japanese)	Visual Basic 6.0 Enterprise Edition - Disc 2 (Japanese)
Visual Basic 6.0 Enterprise Edition - Disc 2 (Japanese)	Visual Studio 2008 Professional Edition (x86 and x64 WOW) - DVD (Japanese)
Visual Studio 2008 Professional Edition (x86 and x64 WOW) - DVD (Japanese)	Visual Studio 2008 Team Foundation Server Workgroup Edition (x86 and x64 WOW) - DVD (Japanese)
Visual Studio 2008 Team Foundation Server Workgroup Edition (x86 and x64 WOW) - DVD (Japanese)	Windows 7 RC Language Pack (x86) - DVD (Multilingual)
Windows 7 RC Language Pack (x86) - DVD (Multilingual)	Windows 7 Ultimate RC (x64) - DVD (Japanese)
Windows 7 Ultimate RC (x64) - DVD (Japanese)	Windows 7 Ultimate RC (x86) - DVD (Japanese)
Windows 7 Ultimate RC (x86) - DVD (Japanese)	Windows Embedded CE 6.0 R2 (x64) - DVD (Japanese)
Windows Embedded CE 6.0 R2 (x64) - DVD (Japanese)	Windows Server 2008 Enterprise and Standard 64bit - DVD (Japanese)
Windows Server 2008 Enterprise and Standard 64bit - DVD (Japanese)	Windows Vista Business DVD (Japanese)
Windows Vista Business DVD (Japanese)	Windows Web Server 2008 - DVD (Japanese)
Windows Web Server 2008 - DVD (Japanese)	Windows Web Server 2008 (x64) - DVD (Japanese)
Windows Web Server 2008 (x64) - DVD (Japanese)	Windows XP Professional with SP3 (Single User) ISO Image (Japanese)
Windows XP Professional with SP3 (Single User) ISO Image (Japanese)	

2009/8/6 時点で入手できるソフトウェアの一覧。いつか見てみたい。Windows 7 の RTM は出ないものか。この学類誌が出版されている頃には僕は Windows 7 にあっという間に慣れている事だろう。

技術紹介テーマ 大募集!

募集

技術紹介コーナーでは、次回以降の技術紹介で取り上げてほしいテーマを募集しています。

- 例) ・○○したいけれどどうしたらいいの?
- ・いつも PC で○○してるけど、不便。もっと簡単な方法ないの?
- ・○○の仕組みを解説してほしい。

...etc

抽象的な内容でもかまいません。読者の皆様が知りたい事や興味のある事に対応してこそ技術紹介だと思っています。是非、MAST 編集部技術紹介担当までご連絡ください。連絡先は以下に掲載致します。

連絡先: MAST 編集部 技術紹介担当: chammarit.scapin@gmail.com

一緒に学類誌を
作ってみませんか？

情報メディア創成学類 学類誌制作委員会 メンバー募集のお知らせ

情報メディア創成学類学類誌制作委員会では、学類誌と一緒に作ってくれるメンバーを募集しています。学年は問いません。雑誌などの印刷物を作ったことがあるなどの経験も特に必要ありません。やる気・興味のある人はお気軽に下記の連絡先までご連絡下さい。また、仕事は小さなものから大きなものまで様々です。忙しい方でも参加できるようこちらで配慮をしたいと考えています。遠慮なくご参加ください。

簡単に仕事を説明すると…

取材・記者

依頼された記事の文章を書きます。また、実際に話を伺いに取材に出かけたり、一般の人に原稿を依頼したりします。

紙面レイアウト

主にInDesignというソフトを使って紙面のレイアウトデザインをします。記者たちが書いた文章をいかに皆が読みやすくなるかがこの仕事にかかっています。

その他・企画など

実際に自分の手で学類誌を作る意外にも記事の企画を考えたり、試作段階の記事の校正、アンケート配布・集計なども学類誌制作の大切な仕事です。

興味を持った方は今すぐコチラ↓までメールを！

高井啓（2年）

s0811533@u.tsukuba.ac.jp



また上記のアドレスでは皆様のご意見・質問・リクエストも募集しています。いつでもご連絡ください。

MAST

Media Arts, Science and Technology

CONTENTS

- 01 NEWS&Headlines
- 03 特別インタビュー
講談社 広報室部長
鈴木宣幸氏
- 07 キャンパスを覗く
特集「活用しよう大学施設 in 春日」
- 09 授業を覗く
- 11 技術紹介
第1回「大学の計算機を
学外から利用しよう！」

CREDIT

情報メディア創成学類
学類誌「MAST vol.1 創刊号」
2009年9月1日 初版第1刷発行

- 発行
情報メディア創成学類
- 発行人
小高和己（情報メディア創成学類学類長）
- 学類代表
昌子佳晃（2年）
- 編集長
高井啓（2年）
- 編集者
落合香織（2年） 酒井佑弥（2年） 澤幡麻佑子（2年）
高井啓（2年） 高橋享平（2年） 渡邊飛雄馬（2年）
- 記者
岩間勇介（2年） 財前涼（2年） 田中圭（2年）
- 記事協力
鈴木宣幸（講談社広報室部長）
田中和世（創成） 志築文太郎（創成）
野上僚司（コンピュータサイエンス専攻1年）
高木寛（3年） 小野寺弘晃（2年）
- 特別協力
工藤博幸（創成） 久野誉人（創成） 森田ひろみ（創成）
徳田克己（看護） 野上元（社会） 吉瀬章子（社工）
李昇姫（芸専） 春日サテライトの皆様